



梅村 勝久 議員

企業誘致と用地問題

今後の取り組みは？

これまでの取り組みを検証し、より有効な施策を展開する

問 企業誘致政策の現状と今後の取り組みは。

答 産業経済部長 市内の遊休地の調査を行い、5か所を適地とした「企業立地ガイド」を作成し、企業誘致に努めてきました。

しかし、企業ニーズに合致しない難しい側面や、現状との齟齬が生じています。今後はこれまでの取り組みを検証し、より有効な施策を展開します。

問 ホームページ等で5か所の用地を紹介していたが、その内3か所は太陽光発電設備が建設されている。工事が進行する中でもホームページから削除されなかった。しかし、昨年未突然削除された。企業誘致を進めるにはルーズだ。企業誘致の適地であると判断するのは誰か、また削除

答 平成20年に区の要望に基づいて協議を重ね、白地ということで選定しました。



▲太陽光発電設備が建設された市内用地

問 川島適地は南船木だが、区と市の協議で適地とされた。しかし、太陽光発電に利用したいと農地転用の確認をされると、*1種農地であるため転用不可とされた。適地の指定及び広報に問題はないか。

答 判断するのは誰か、責任の所在は。判断の責任は、市長であると考えています。

問 ホームページ等からの川島適地の削除に際して、区へ説明が必要だったのではないか。

答 候補地選定の背景を考えると、区役員に削除に至る経緯を説明するのが本来でした。近日中に説明に伺いたいと考えます。

問 以上4か所は誘致ができず、残る西浜適地も国道整備後の接道となる。紹介できる適地はないのでは。

答 企業誘致は、用地がなければ困難な部分もある。また、今回のように誘致を進めておいて、農地法で断ることもなりかねない。方向性を示し各部署調整の上で誘致活動を進めることが必要ではないか。



▲若者定住促進のためにも、湖西線の安定運行を

問 湖西線の強風対策

答 農用地区域以外の良好な営農条件を備えている農地。概ね20ha以上であること、特定土地改良事業等の対象農地であること、高生産性農地であることが条件となっている。

問 湖西線の強風対策

答 湖西線の強風対策



福井 節子 議員

学校統廃合

各集落で説明会をすべきでは？

地域全体での話し合いが大切、今後も合同説明会を開催する

問 3小学校の統廃合が進められ、広瀬小学校で2回目の説明会が行われた。多くの保護者が参加し意見を述べられたが、地域の方は知らない人も多い。地域のシンボルの学校をなくすのだから、住民の納得を得るよう慎重に進めるべきだ。十分な議論を尽くすために各集落で説明会を開き、3月の方針決定は先送りを。

答 教育部長 保護者の皆さまからは、早期の統合を望む意見が多く出されたことから、「3月に方針決定し、平成27年

度または28年度を目途とする方針案」として見直しした。

問 保護者の中には、「子どものため」と言われると、何も言えない。統廃合ありき・トップダウンをすごく感じる。押し付けられた感で、反対意見など言えない。

答 「子どもが減る話ばかりだ、増やそうという考えはないのか」

「広瀬小学区から安曇小へ通学している。むしろ、安曇小学区から広瀬へ通えるように出来ないのか」

「学校があるから、移住者も住んでくれる。学校がなくなると、住まない」

問 「若者定住・子育て支援戦略方針案」を示されたが、学校統廃合と矛盾するのではないかと。学校をなくせば、若者・子育て世代の移住・定住が望めなくなり「若者・子ども37%を28年に」の戦略方針と整合性がない。小規模校の特性を生かし、目の行き届く教育をPRすべきでは。

答 副市長 「若者定住・子育て支援戦略方針」は、人口減少が進む市を安定的に運営するための戦略を示しており、学校統廃合方針と矛盾するものではないと考えます。

統廃合ありきでなく、ある資源を生かし、若者・子育て支援戦略を皆さんの声を聴いて進めていただきたい。

- 原発隣接自治体の在り方と防災
● 安全・安心でおいしい給食を提供するために